

地質サイトカード

カードNo.		B-④-5		通しNo.		38		作成日		2025/3/10			
サイト名		連結汽水湖の中海											
基本情報	エリア	出雲平野・宍道湖・中海低地帯 探訪サイト											
	区分	☒ 地質・地形			☒ 生態			☒ 文化					
	利用価値	☒ 科学			☒ 教育			☒ 観光・ツアー					
	所在地	松江市ほか											
	アクセス												
	周辺施設	☒ トイレ ☒ 売店 ☒ 飲食店 ☒ 駐車場(台) ☒ ウォーキングコース ☒ サイクリングコース ☒ 観光施設(松江市中海振興多目的施設ほか)											
	看板整備												
	留意点												
		位置情報										a-4	
保護・保全	法規制・関連団体等	ラムサール条約登録湿地 国土交通省出雲河川事務所											
	保全メモ												
サイトの解説	みどころ	高塩分水域の形成と干拓淡水化事業中止の歴史											
	地質・地形	中海は周囲長105km、面積86.2km²の大きさの汽水湖である。大橋川から弓ヶ浜半島にかけて緩やかに深くなっている。平均水深は深5.4mであるが、弓ヶ浜半島に沿った水域は湖底泥が干拓の埋め立て用に採取されたため、水深が14mを超える湖底窪地が点在している。湖内には、閉鎖性の強い米子湾があり、湖底窪地の無酸素化した湖水と併せて栄養塩類や硫化水素の溶出による湖水の環境悪化のための対策が産官学で行われている。中海は、1968(昭和43)年から国家プロジェクトとして全域が干拓淡水化事業の対象となり大規模工事が進められたが、2002(平成14)年に事業が完全に中止された国内で初めての場所である。事業が中止されて以降には、中海の環境保全とワイズユースのために市民によって自然再生活動が進められている。干拓淡水化事業によって建設された江島と弓ヶ浜半島との間、約500mの水門は撤去されたが、干拓堤防は目的を変えて大根島・江島を本土と繋ぐ県道として利用されている。											
	歴史・文化 生物・生態等												
写真・図等													
参考文献		鹿野和彦ほか(1989)大社地域の地質											